

# 野のはな

金城学院大学生活環境学部  
(旧家政学部:家政学科、生活経営学科)  
同窓会会報第5号  
発行: 2006年9月1日  
〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64  
みどり野会館内



## 「Don't Worry!」

理事長・学院長 戸田 安土



## 「野のはなに育つ」

学部長 中森千佳子

### 「山路きて なにやらゆかし すみれ草」

「野のはな」という言葉を聞くたびに、真っ先に私の脳裡をよぎるのは、この句にうたわれた「すみれ草」です。「野のはな」の出典が、マタイ福音書6章28節の「山上の説教」にあることを知らないわけではありません。聖書学者は、「野のはな」は、早春のイスラエルを一面真っ赤に彩るアネモネか、同じキンポウゲ科のラナンキュラスだといいます。しかし、「野のはな」の印象はこの句の楚々としたすみれ草がふさわしい。私には、そう思われてなりません。

この聖書の箇所には、「思い悩むな」という小見出しが付けられています。たとえ、人には知られずとも、神の恵みの陽光の中で、たった一輪でも紫の花を咲かせるすみれ草のひたむきさ、けなげさ。「野のはな」に込められたイエスの思いは、この句にぴったりと重ねられるように思うのです。それは、群を頼んで全野を朱に染めるアネモネよりも、「思い悩むな」というイエスの勧めにふさわしいように思われます。

最近、社会派ジャーナリスト、桜井よしこさんの「何があっても大丈夫」という本を読みました。題名になったこの言葉は著者の母親の口癖で、「お母さんがあなた方を守るから、安心していらっしゃい」という言葉が、それに統いて語られたようです。

では、母親のその確信は、一体、どこからきたのでしょうか。「神さまは私たちを愛してくださってるの。だから、私たちは誰でもみんな、幸せになるようになっているの。どんな人も幸せになるために生まれてきたのよ」と、中学生の娘に語り聞かせた母親は、天性の純粋な信仰心を持っていた人のようです。そして、この幸薄い無学な母親の励ましが、思春期の桜井さんのこころをしっかりと掘んで終生の支えになっているようです。

私たちは、幸い聖書に出会って、「そのひとり子をお与えになつたほどに、世を愛された神（ヨハネ福音書3章16節）」を知っています。その神の子イエスが、「思い悩むな（Don't worry!）」と語り掛けられておられるのです。「野のはな」や「空のとり」を通して、神の愛を思い起こせと、私たちは呼び掛けられているのです。

「野のはな」会員の皆さん、「思い悩むな（Don't worry!）」という神の励ましをしっかりと心に留め、精一杯、それぞれの花を咲かせてくださいと願ってやみません。

野のはな会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。私こと、本年4月から生活環境学部長を仰せつかりました。弱輩ですが誠心誠意努める所存です。これまでにもまして、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

さて、2002年4月に家政学部から名称変更した生活環境学部は、この3月に第1回の卒業生を送り出しました。おかげさまで就職率は学部平均98.0%（学内データ）に達し、高い数値をあげることができました。また、今年度から、3学科ともにより高度な資格取得や専門をいかした進路に対応するカリキュラム改訂を実施しています。大学全入時代を間近に控え、時を移さず、さらなる魅力ある学部・学科への取り組みが求められています。

しかし、このような目まぐるしい状況の中で、常に確認したいことは、どのような人材を育てたいのかということです。最近の学生を見ていると、温室で育った大輪のバラをイメージします。もちろん、バラのすばらしさもありますが、私たちが育てたいのは果たして温室のバラなのでしょうか。そう考える時、同窓会を「野のはな」と名づけた家政学部卒業生の姿が思い浮かびます。野の花に目をとめるゆとりとその良さを認めることができる審美眼、そして、大輪のバラと並んでも見劣りしない強さと知性を兼ね備えた女性です。家政学部の伝統を受け継いだ生活環境学部では、次代の「野のはな」を育成するために、温室ではない敢えて少々厳しい、しかしのびやかな環境を準備したいと願っています。

これからの時代に学部の存在意義を示し、他大学との差別化を図る方法は、専門をいかした社会的貢献であると考えます。家庭、地域、職場等での卒業生の評価が学部教育の評価に反映されるということです。学部として自信をもって送り出した卒業生との連携、支援、再入学をも視野に入れ、生涯を通して学生と大学が係わっていくシステムを構築したいと考えています。皆様の忌憚のないご意見をお待ちしています。



## 「野のはな」の紹

野のはな会長 平林 恵子

本年度から生活環境学部の卒業生を「野のはな」にお迎えでき、本当に嬉しく思っています。2001年に設立された「野のはな」は、その後着実に土台を築き、発展を遂げています。その名称のごとく、四季折々、どこにでも力強く咲く野のはなが、どこか上品な可憐さを漂わせ、周りの人々のこころ癒してくれるよう、卒業年度や場所を越え、日本全国、いや世界中で活躍されている同窓生の皆さんとの縦・横の関係を大切にして、私達の絆を一層強くして行きたいと祈念しています。

10月28日に総会が開催され、テーブルコーディネイターによる『ハレの日のテーブルセッティング』等を学びながら、会員の皆様とともに楽しく集いたいと考えています。ぜひ、ご出席ください。

## 同窓会「野のはな」第5回総会

日 時：2005年10月29日（土）午後1時～

場 所：金城学院大学E3号教育情報棟1Fラウンジ

出席者：80名

藤城榮一教授、水島裕名誉教授、近藤博信教授、成瀬正春教授、みどり野会より市村恵美子会長のご出席を賜わり開催されました。「野のはな」の活動には皆様より賛辞のお言葉を頂戴し、又、金城学院発展の為同窓会の協力が欠かせないとご挨拶でした。

会則改正、2005年度事業報告及び2005年度会計、会計監査承認に続き、2006年度新役員紹介へ移り、新しい年の事業計画案、予算案報告と速やかに議事は進みました。

次に近藤博信教授に“栄養学と33年”という題での講演を伺いました。



近藤教授が金城学院大学家政学科就任（昭和46年）当時の話は家政学部の歴史とも重なり、エピソードも交えて大変楽しく、お人柄の滲み出る講義でした。生命と栄養学の関係をテーマに微量栄養素の働きについて、長く研究しておられるとのお話で、恵まれた教員生活を送れることに感謝し、キリスト教精神に出逢え幸せと述べられました。

二部のティーパーティーでは、手作りクッキー、ケーキ、ドリンクで恩師を交じえ、和気あいあいと思い出に花を咲かせる中、学院同窓生でプロ音楽家として活躍しておられる、オペラ歌手堀澤麻衣子様に歌って頂き、美しい歌声が会場を魅了するミニライブに時が過ぎるのも忘れる午後となりました。



### 訃 報 のお知らせ

三輪ふさ子先生 2006年1月2日永眠（90才）・近藤博信先生 2006年6月18日永眠（62才）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。“野のはな”的総会にも出席して下さり、温かいご激励をいただきました。つねに良き指導者として、学生達に慕われる恩師であられました。ご生前のご厚情に心から感謝をお捧げ申します。

# 卒業生訪問

## 生活環境学部に期待!

家政学科3回生 相澤幸子さん



私は、金城高等学校で家庭科の教師をしています。私にとって金城は大切な園であり、沢山の教え子との触れ合いは私の財産となっています。母校で教鞭を執ることは、神様の恵みと自負しながら毎日を過ごしています。大学の学部名が1965年には59だったのに、2005年には6倍の365になりました。生徒たちは進路を決める選択肢が増え、最近では学部名も環境、国際、人間、情報といった文字の入った学部が増えました。

金城学院も家政学部から、生活環境学部へと名称を変更しました。内部推薦希望者のほとんどの生徒が、第1希望の学部学科に進学していく時代になりました。先日、大学3年生になったNさんが「先生、管理栄養士を目指して頑張ります…」と言いました。頼もしい言葉でした。「先生達も必死で教育してくださるから、あなた達もそれに応えてよね」と応答しました。本当に勉強したい生徒たちにとって、金城学院大学は資格を取得し、スキルを身につけ、社会に進出していく事ができる大学に変革しました。そのため、家政系を希望している生徒にとって、家庭科の授業は進路に大きく影響を及ぼします。それぞれが、何に興味をもっているか、将来はどのような事を探求したいかなどを含めて一人一人の賜物を引き出すように努力しています。

金城学院は歴史のある学校です。多くの卒業生を社会に送り出してきました。その人たちの中には有名になつたり、立派な職業に就いている人も沢山います。専業主婦として家族のために励んでいる方も多くいます。しかし、卒業生たちがたとえどのような生き方をしたとしても、自分をいとおしみ、隣人を大切にしながら、それぞれの人生を心のこもったものとして歩んでいってほしいと願っています。最後に、私の大好きなマザー・テレサの言葉を紹介します。

“たいせつなことは どれだけ たくさんのことや 偉大なことをしたかではなく  
どれだけ こころをこめて したかです”



### ■プロフィール



相澤幸子 (AIZAWA, Sachiko)

1968年	金城学院家政学部家政科卒業	1982年～1988年	金城学院中学校非常勤講師
1968年	愛知文化服装学院夜間部師範科卒業	1989年	金城学院中学校専任教員
1977年～1984年	金城学院高等学校非常勤講師	1990年～現在	金城学院高等学校専任教員
1982年	名古屋市昭和社会教育センター 「手でさわる絵本づくり」講座講師	2005年	テーブルコーディネーター資格取得



中日スポーツ功労賞授賞おめでとうございます。山田満知子さん（家政学科1回生）

日本フィギュアスケート界の指導者として多くの実績を認められ、その功労に誇らしい賞を受けられました。

### 家政学科 第3回生

2005年9月18日東急ホテルのロワールにて還暦の祝いを兼ねてのクラス会。出席者15名での会食会は和気あいあいで話が盛りあがり楽しい一時を過しました。記念に赤いハンカチをプレゼント。



### クラス会便り

### 家政学科 第7回生

2005年11月26日ホテルグランコート名古屋花梨にて18名の出席者思い出深い集いでした。



### 家政学科 第15回生

2005年6月18日ホテルグランコート名古屋花梨にて7年ぶりの同窓会を開催しました。28名の参加に場も華やぎました。



## —キャンパス便り（2006年4月からの金城学院大学）—



家族福祉・消費者問題・  
情報活用を学び、自分らしい  
生き方を組み立てる。

## 生活環境学部



「衣服」「住まい」「都市」の3領域で、  
人や環境へのやさしさを  
持ったモノづくり。



管理栄養士の資格取得  
に完全対応。食と健康と  
栄養に関する専門家を育成。

会計報告書

(2004.10.1～2005.9.30) 「野のはな」2006年度 新役員

お手元の会報をご確認下さい。

## 2006年度 総会のご案内

### テーブルコーディネーターによるテーブルセッティング＆ティータイム

日時：2006年10月28日(土)13:00～16:00(受付12:30)

場所：金城学院大学E-3号館(教育情報棟)1階ラウンジ

会費：1,000円

#### 《コーディネータープロフィール》

服 部 淑 子 さん（金城学院短期大学卒）

家庭画報大賞「わが家のテーブルコーディネート」

家庭画報大賞「おひさしぶり さあ、どうぞ」

家庭画報大賞「私のティータイム」執筆多々

祖父江加代子 さん

主婦の友社グランプリ、

東京ドームテーブルコーディネートコンテスト

など数々受賞

### お 願 い

総会ご案内及び会報誌は終身会費納入済の会員のみ配達させて頂きました。  
次年度より終身会費を10,000円に変更する事に決まりました。お知り合い  
の中に未納の方がありましたら、郵便振り込み 00880-6-111746 金城学院  
大学同窓会「野のはな」宛 5,000円入金して頂きます様ご案内下さい。必  
らず卒業年度又は生年月日のご記入をお伝え下さい。

〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64 みどり野会館内 野のはな事務局 TEL(052) 931-4480】

### 編集後記

「野のはな」が卒業生多数の参集の場とな  
り、会員相互が懇親を深める機会となればと  
編集活動してまいりました。皆様の人生に金  
城学院で学んだ素晴らしい教えが、豊かさを  
より増します様に願い、ご協力いただいた皆  
様に感謝申し上げます。

広報部一同